

Press Release

—お問い合わせ—

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



第 19 回宇城の窯元めぐり 宇土市の参加窯元紹介 (2 人目)

「網田焼 蒼土窯」——宴の器たち

宇城地域の 10 つの窯元で構成する「くまもと宇城・陶の会」が主催する「第 19 回宇城の窯元めぐり」が 10 月 11 日（土）から 19 日（日）までの 11 日間開催されます。※宇城の窯元めぐりの詳細は、前回のリリースをご確認ください。

宇土市から参加する 3 つの窯元の紹介シリーズ、第 2 回は下網田町の「網田焼 蒼土窯（そうどがま）」です。

【前田和について】

蒼土窯を営む前田和さん(81 歳)は熊本市出身。大学の美術科にて美術の教員を志し学んでいた際、陶芸と出会い、その後、別の大学に入り陶芸について学びました。さらに愛知県の職業訓練所で陶芸技術を習得し、瀬戸市の町工場で勤務。3 年目に独立し瀬戸市内で陶芸家として活動を始め、銀座など都市部でも積極的に作品展示を行うなど、常に時代の中心と向き合いながら創作を続けてきました。

36 歳のとき、熊本城で展示された「網田焼」に感銘を受け、現在の下網田町へ家族とともに移住。蒼土窯を開き、「網田焼」の復元にも取り組んでいます。

【作品の特徴】

前田さんの作品は、葉や根、花など実際の植物を粘土に押し当てて、その形や気配を写し取る「草木捺彩陶（そうもくなつさいとう）」という独自の技法を確立しています。しなやかな日本の植物だからこそ可能な繊細な表現で、同じものは二度と生まれません。植物と向き合い、一つひとつ丁寧に制作することで、咲き誇る瞬間の「生命」を陶器に写し出しています。

現在は、東京都内の墓地から依頼を受け、蓮の葉と花をあしらった横 300 cm×縦 90 cmの陶板壁を制作中です。過去には、阿蘇郡高森町に自生する「ハナシノブ」の花を、上皇后美智子さまとご縁の深い植物研究家・佐藤武之さん（享年 90 歳）から「この花の美しさを永遠に残したい」と依頼され、根から花までを型取った陶板作品を制作。前田さんが東京で個展を開いた際、その陶板を美智子さまに献上されたというエピソードもあります。

【所在地・連絡先】網田焼 蒼土窯 住所：宇土市下網田町 380 ☎0964-27-1707

「くまもと宇城・陶の会」代表：肥後瑠璃工房 坂本史朗 ☎090-6429-5608



報道関係者各位

2025 年10月2日
宇土市役所

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電 話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



【参考】

作品例



前田和さん

